

出前講座

日時：令和元年9月25日(水)
10:00～

場所：さんだ市民センター
文化スポーツ課 中井 秀樹

さんだの刀剣について

1. はじめに

2. 武器のはじまり

- 1) 稲作の伝来 石器：石剣・石鏃、金属器(青銅・鉄)：剣、刀、戈、鏃
- 2) 有鼻遺跡(弥生時代中期)磨製石剣に似た形状(長さ23cm 畿内最古級)

3. 三田出土の刀剣(市教委調査)

1) 鉄剣 他

西山古墳群第6号墳

2) 直刀 (平安時代頃から薙刀)

木棺：川除古墳群第8号墳、

萬代古墳群第3号墳、萬代古墳群第4号墳、萬代古墳群第5号墳、
宮脇古墳群第18号墳、西山古墳群第6号墳、新坂古墳群第2号墳
奈良山古墳群第7号墳

横穴式石室：上野ヶ原古墳、宮脇古墳群第13号墳、岡ノ谷古墳、

○鉄製の刀剣が日本で生産されるようになったのは古墳時代と思われる。

剣は5世紀末に減少。古墳時代後期以降は直刀が主流。

4. 装飾刀、刀装具

- ・高川1号墳 金銅製鐔
- ・高川2号墳 銀象嵌太刀
- ・東仲古墳 銀象嵌刀装具

○装飾付大刀と呼ばれ、金・銀・金銅装の煌びやかな刀装具に飾られたもの。本来の武器としての使用のほかに、儀礼用(儀仗)に使われる権威の象徴品。

○古墳時代後期の装飾大刀は、ヤマトなどとの関係の証として限られた有力者だけが所有することができたと言う。環頭大刀、圭頭大刀、頭椎大、単龍(単鳳)・双龍環頭大刀など。